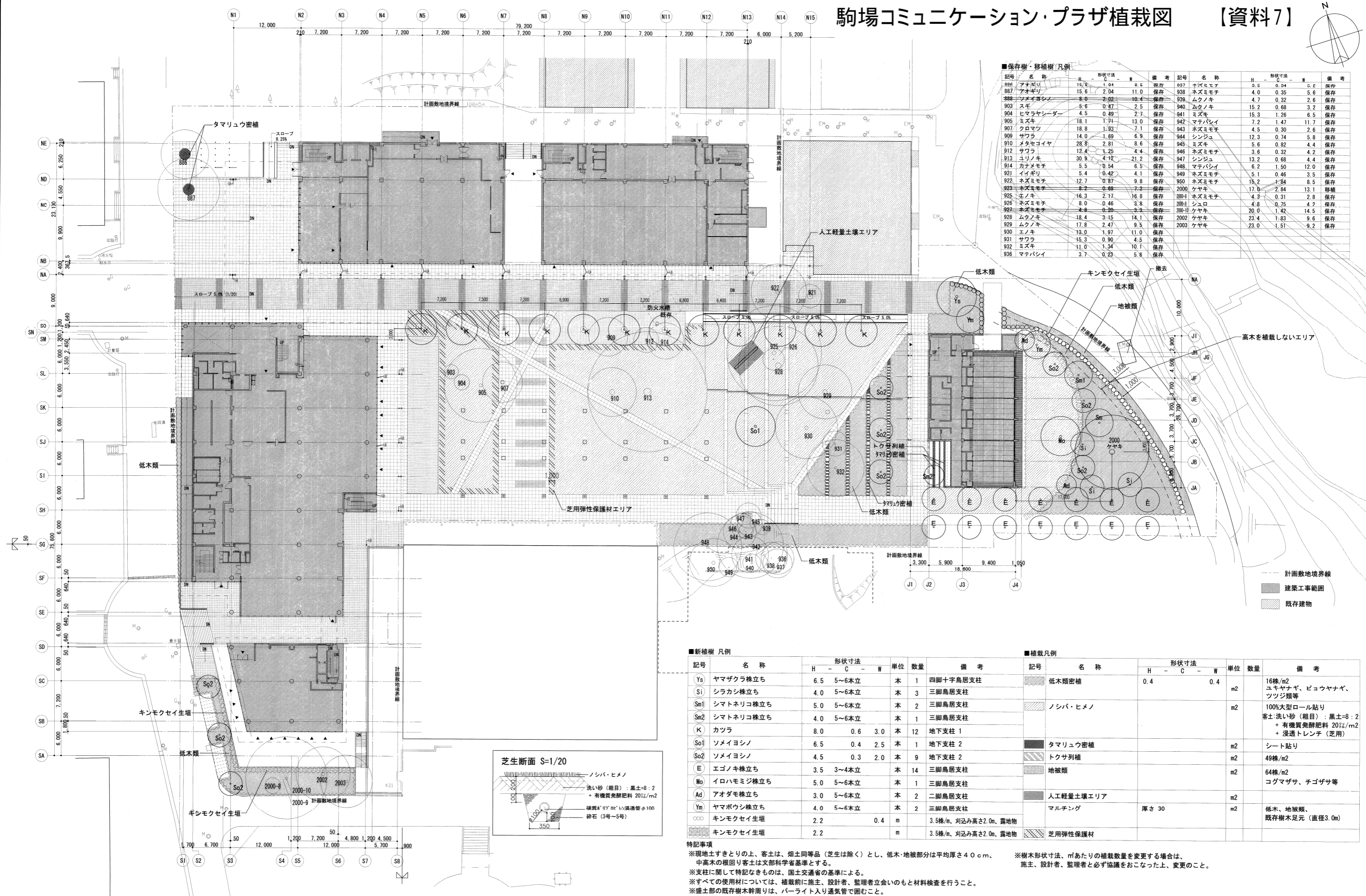
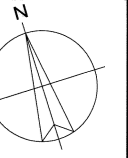


# 駒場コミュニケーション・プラザ植栽図

【資料7】



### ■保存樹・移植樹 凡例

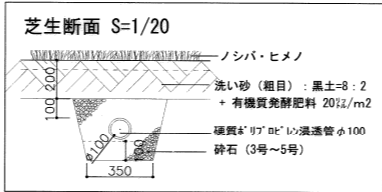
記号	名称	H	形状寸法	備考	記号	名称	H	形状寸法	備考
886	アオギリ	15.8	1.04	0.6	927	ネズミモチ	9.6	0.94	5.2
887	アオギリ	15.6	2.04	11.0	938	ネズミモチ	4.0	0.35	5.6
888	ソメイヨシノ	8.0	2.02	10.4	939	ムクノキ	4.7	0.32	2.6
903	スギ	5.6	0.47	2.5	940	ムクノキ	15.2	0.68	3.2
904	ヒマラヤシダー	4.5	0.49	2.7	941	ミズキ	15.3	1.26	6.5
905	ミズキ	18.1	1.71	13.0	942	マテバシイ	7.2	1.47	11.7
907	クロマツ	18.8	1.93	7.1	943	ネズミモチ	4.5	0.30	2.6
909	サワラ	14.0	1.69	6.9	944	シンジュ	12.3	0.74	5.8
910	メタセコイヤ	28.8	2.81	8.6	945	ミズキ	5.6	0.82	4.4
912	サワラ	12.4	1.25	4.4	946	ネズミモチ	3.6	0.32	4.2
913	ユキノキ	30.9	4.12	21.2	947	シンジュ	13.2	0.68	4.4
914	カナメモチ	5.5	0.54	6.5	948	マテバシイ	6.2	1.50	12.0
921	イイギリ	5.4	0.42	4.1	949	ネズミモチ	5.1	0.46	3.5
922	ネズミモチ	12.7	0.87	9.8	950	ネズミモチ	15.2	1.84	8.5
923	ネズミモチ	8.2	0.69	7.2	2000	ケヤキ	17.0	2.84	13.1
925	エノキ	16.3	2.17	16.8	2001	ネズミモチ	4.3	0.31	2.8
926	ネズミモチ	8.0	0.46	3.8	2002	シュロ	4.8	0.75	4.2
927	ネズミモチ	4.8	0.20	3.3	2003	ケヤキ	20.0	1.42	14.5
928	ムクノキ	18.4	3.15	14.1	2002	ケヤキ	23.4	1.83	9.6
929	ムクノキ	13.0	2.47	9.5	2003	ケヤキ	23.0	1.51	9.2
930	エノキ	13.0	1.97	4.5					
931	サワラ	15.3	0.90	11.0					
932	ミズキ	11.0	1.34	10.1					
936	マテバシイ	3.7	0.23	5.8					

### ■新植樹 凡例

記号	名称	形状寸法			単位	数量	備考
		H	C	W			
Ys	ヤマザクラ株立ち	6.5	5~6	本立	本	1	四脚十字鳥居支柱
Si	シラカン株立ち	4.0	5~6	本立	本	3	三脚鳥居支柱
Sm1	シマトネリコ株立ち	5.0	5~6	本立	本	2	三脚鳥居支柱
Sm2	シマトネリコ株立ち	4.0	5~6	本立	本	1	三脚鳥居支柱
K	カツラ	8.0	0.6	3.0	本	12	地下支柱 1
So1	ソメイヨシノ	6.5	0.4	2.5	本	1	地下支柱 2
So2	ソメイヨシノ	4.5	0.3	2.0	本	9	地下支柱 2
E	エゴノキ株立ち	3.5	3~4	本立	本	14	三脚鳥居支柱
Mo	イロハモジ株立ち	5.0	5~6	本立	本	1	三脚鳥居支柱
Ad	アオダモ株立ち	3.0	5~6	本立	本	2	二脚鳥居支柱
Ym	ヤマボウシ株立ち	4.0	5~6	本立	本	2	三脚鳥居支柱
○	キンモクセイ生垣	2.2			m	3.5株/m	刈込み高さ2.0m、露地物
○	キンモクセイ生垣	2.2			m	3.5株/m	刈込み高さ2.0m、露地物

### ■補栽凡例

記号	名称	形状寸法			単位	数量	備考
		H	C	W			
○	低木類密植	0.4		0.4	m <sup>2</sup>		16株/m <sup>2</sup> ユキヤナギ、ビヨウヤナギ、 ツツジ類等
○	ノシバ・ヒメノ				m <sup>2</sup>		100%大型ロール貼り 客土: 洗い砂(粗目): 黒土=8:2 + 有機質発酵肥料 20%/m <sup>2</sup> + 浸透トレンチ(芝用)
○	タマリユウ密植				m <sup>2</sup>		シート貼り
○	トクサ列植				m <sup>2</sup>		49株/m <sup>2</sup>
○	地被類				m <sup>2</sup>		64株/m <sup>2</sup> コグマザサ、チゴザサ等
○	人工軽量土壌エリア				m <sup>2</sup>		
○	マルチング	厚さ 30			m <sup>2</sup>		低木、地被類、 既存樹不足元(直径3.0m)
○	芝用弾性保護材						



**特記事項**  
 ※現地土ときどりの上、客土は、畑土同等品(芝生は除く)とし、低木・地被部分は平均厚さ40cm、中高木の根回り客土は文部科学省基準とする。  
 ※支柱に関して特記なきものは、国土交通省の基準による。  
 ※すべての使用材については、植栽前に施主、設計者、監理者立会いのもと材料検査を行うこと。  
 ※盛土部の既存樹木幹周りは、パーライト入り通気管で囲むこと。

※樹木形状寸法、mあたりの植栽数量を変更する場合は、施主、設計者、監理者と必ず協議をおこなった上、変更のこと。

北館・南館 1FL=T.P.+36.6  
 和館 1FL=T.P.+34.95

▲ 出入口

設計者	松崎 健二	工事名	東京大学(駒場)駒場コミュニケーション・プラザ施設整備等事業	図面番号	L-6
監理者	一般建築士協議会 第142631号	図面名	植栽計画図	縮尺	A1 1/300 A3 1/600
製図者		担当校務員	東京大学(駒場)駒場コミュニケーション・プラザ 施設管理・産協建設 設計共同企業体	当該校務員	2005.06.30